

# 地震対策優先順位意思決定支援

地震動力学研究室

**概要** 既設構造物の地震対策における優先順位を評価し、対策における意思決定を支援します。はじめに、鉄道線区全体を対象に、地点毎に発生確率を考慮した生起確率付き地震動を予測します。続いて、個別の構造物に対し、地震対策を実施する前後の損傷確率および地震損失額を算定します。これらの結果から地震対策前後のライフサイクルコストの差分(DLCC)の大きさに応じて、対策の優先順位を評価します。

**特徴** 本技術により、鉄道線区に存在する様々な異種構造物の耐震性能を同一の指標で評価することができ、当該線区において相対的に耐震性能の劣る箇所を順に補強することにより、線区全体の耐震性能を徐々に高めることが可能となります。また、ライフサイクルコスト概念の導入により、鉄道事業者が限られた予算の中で異なる施設に対する最適な補強工法を採択する際にも役に立ちます。

**工期と工費** 工期:線区当たり3~12ヶ月程度  
 工費:10km線区当たり100~200万円程度  
 但し、提供される構造物および地盤のデータにより異なる場合があります。

